

ワイヤー式多層移動量計

大移動量の地すべり観測に威力を発揮する

数10cm以上の移動量が観測される地すべりでは、地中傾斜計やパイプひずみ計では地中の変動をとらえることができません。地中伸縮計も、すべり面の判定には不向きです。ワイヤー式多層移動量計はこれらの問題を解決しました。さらに、数mの移動量まで観測が可能です。また、数層のすべり面が存在する地すべりでもそれぞれのすべり面における移動量を的確にとらえます。



ワイヤー式多層移動量計の特徴

地すべり面と移動量を現地で観測できます

地すべり面の移動量を現地で直接測定できる計測器はほとんどありません。多層移動量計はすべり面における移動量を直接測定できます。

大移動量の地すべりに対応できます

多層移動量計の測定単位は0.5mmです。移動量をワイヤーの伸びとして変換しますので、ワイヤー長（通常は10m）が観測限界となります。

自動観測にも使用できます

ポテンショメーターを取り付けることにより、自動測定も可能になります。NTT回線を使用した遠隔監視システムにも利用できます。

